ひだまり

2026.10.23　№15

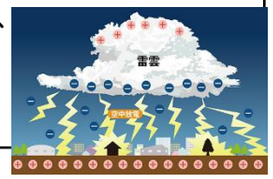
《思考力の芽生え編》

くまぐみ ～静電気について～



『電気って何かな？』
「部屋の電灯」「デンキウナギ」「懐中電灯」「かみなり」

『懐中電灯には何が入っているかな？』「電池」
『電池には、出っ張っている所とツルツルの所があるね』「ばねがある方にツルツル入れるねんで」
『電池にはプラスとマイナスがあって、つながると電気が流れるんだよ。雷もそうだね。』



『静電気って知ってる？』
「バチッてなる！一瞬だけやけど」
『静電気を感じてみよう。クリアファイルで髪の毛をこすると、どうなるかな？』
「髪の毛がくっついてる～」『クリアファイルにマイナスの電気がたまり、髪の毛にプラスの電気がたまるんだよ。マイナスとプラスは引き合うので、クリアファイルに髪の毛がくっつくんだよ。』





『スズランテープで作ったクラゲをティッシュでこすります。膨らませたポリ袋もティッシュでこすります。そして、クラゲを投げ、その下にポリ袋を近づけると、どうなるかな？』
本当は、お互いマイナスの電気をもっているので、反発してクラゲが浮かぶのですが、この日は湿度が高くてあまりうまくいきませんでした。かわりに、クラゲは手によくくっつきました。この実験は、ぜひ、お家で空気が乾燥している時にやってみてください。

“ストローと水道”の実験もする予定でしたが、今回はできませんでした。
ティッシュでこすったストローを蛇口から細長く出ている水に近づけると、どうなるでしょうか？実験してみてくださいね。これも乾燥している日の方がいいですよ。

～スエＴの科学の時間～

２回目の末広先生による“スエＴの科学の時間”は、くま組は『静電気』、ぱんだ組は『種』ついて教えてもらいました。とても楽しみにしていたので、スエＴが登場すると「スエＴだ～！」と大喜びの子どもたちでしたよ。

ぱんだぐみ ～種について～

種についての話をする前に、子どもたちから出た質問に答えてくれました。
Q「シャボン玉はどうしてわれるの？」
A「シャボン玉は“液”でできています。シャボン玉の上の方の液が、重力でどんどん下の方に垂れてきて、上の方が薄っぺらくなってきて、われるんだよ。」

《様々な植物の【種を遠くへ運ぶための工夫】について話を聞きました》

☆どんぐり
♪どんぐり　ころころ　どんぶりこ～　おいけにはまって　さぁ　たいへん♪と、歌にあるように、どんぐりはころころ転がって遠くに運ばれていくように、丸い形をしています。



☆柿
柿は甘くておいしいので、鳥やクマなどの動物が食べてくれます。動物たちが食べ散らかしたり、糞と一緒に出たりして、種を遠くまで運んでもらっています。

白いスプーンみたいなところから芽や根が出て伸びるよ。

☆ひっつきむし（アメリカセンダングサ・ヌスビトハギ）
いろいろな動物にひっつくことで、遠くに種を運んでもらっています。

☆モミジ
モミジの種は、転がらないし、おいしくないし、ひっつきません。モミジの種を投げるとくるくるまわって落ちます。風が吹くと遠くまで飛ばされるような形をしています。

モミジの種



☆まつぼっくり
まつぼっくりは、松の種です。これも、モミジと同じように、風に飛ばされやすい形をしています。

モミジの種を飛ばしたよ！



まつぼっくりの種を飛ばしてみよう！



まつぼっくりの種を取り出してみるよ。



くるくるまわってる～！